

改訂にあたって

1 改訂の経緯（児童生徒等を取り巻く社会的背景の変容）

近年、社会環境の変化や情報化社会の進展により、児童・生徒等を取り巻く環境が大きく変化しています。インターネット上には性に関する情報が氾濫し、様々な情報を容易に入手できるとともに、SNS等を介して性犯罪に巻き込まれることもあります。また、若年層のエイズ及び性感染症や人工妊娠中絶も課題となっています。さらに、性自認・性的指向等の児童・生徒への指導については、学校生活を送る上で正しい理解に基づいて、児童・生徒一人一人の心情等に配慮した個別の支援が必要です。また、平成29年及び平成30年に学習指導要領が改訂され、これからの社会を生き抜く児童・生徒に求められる資質・能力が、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱に整理されました。そして、社会に開かれた教育課程を編成すること、カリキュラム・マネジメントを確立し、教科等横断的な視点から教育活動を改善すること、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善を行うことなど、改訂の重点が示されました。

これらのことを踏まえ、姫路市教育委員会は、引き続きテーマを「自他の生命を大切にし、互いの生き方を認め合う子の育成」とし、性教育における重点的な内容や配慮すべき事項を整理し、幼稚園から高等学校までの系統立てた性に関する指導について、改訂することとしました。

2 性教育で目指す子ども像

姫路市は、「自他の生命を大切にし、互いの生き方を認め合う子の育成」を目指します。

- (1) 新しい生命が誕生することはかけがえない喜びであることや、すべての人間が人間として尊重されなければならないことを認識し、自他の命を大切にすることができる。

〔生命尊重〕

- (2) 心身の発育・発達について、発達の段階に応じて正しく理解し、心身の発育・発達には個人差があることに気付き、それらを肯定的に受け止め、自他を大切にしながら、不安や悩みに適切に対処することができる。

〔体と心〕

- (3) 性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう、直面する性の諸課題に対して適切な意思決定や行動選択ができる。

〔情報・安全〕

- (4) 人間尊重、男女平等の精神に基づいて、性別等にかかわらず、多様な生き方を尊重し、互いに協力し合って豊かな人間関係を築くことができる。

〔互いの尊重（性の多様性）〕

性教育の取り扱い

1 学習指導要領における位置付け

学習指導要領及び解説では、性教育に関する内容について次のように示されています。性を含めた健康に関する指導は、児童・生徒の実態や課題に応じて、教育活動全体を通じた各教科等において、関連付けて指導することになっています。

総則

【小学校学習指導要領（平成29年3月）第1章 総則 第1の2（3）】

※中学校、高等学校においても同様

学校における体育・健康に関する指導を、児童の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努めること。特に、学校における食育の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については、体育科、家庭科及び特別活動の時間はもとより、各教科、道徳科、外国語活動及び総合的な学習の時間などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めること。また、それらの指導を通して、家庭や地域社会との連携を図りながら、日常生活において適切な体育・健康に関する活動の実践を促し、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われるよう配慮すること。

【小学校学習指導要領解説 総則編（平成29年7月）抜粋】

健康に関する指導については、児童が身近な生活における健康に関する知識を身に付けることや、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行い、積極的に健康な生活を実践することのできる資質・能力を育成することが大切である。

（略）

さらに、心身の健康の保持増進に関する指導においては、情報化社会の進展により、様々な健康情報や性・薬物等に関する情報の入手が容易になっていることなどから、児童が適切に行動できるようにする指導が一層重視されなければならない。なお、児童が心身の成長発達に関して適切に理解し、行動することができるようにする指導に当たっては、第1章総則第4の1に示す主に集団の場面で必要な指導や援助を行うガイダンスと一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行うカウンセリングの双方の観点から、学校の教育活動全体で共通理解を図り、家庭の理解を得ることに配慮するとともに、関連する教科等において、発達の段階を考慮して、指導することが重要である。

体育・健康に関する指導は、こうした指導を相互に関連させて行うことにより、生涯にわたり楽しく明るい生活を営むための基礎づくりを目指すものである。

したがって、その指導においては、体づくり運動や各種のスポーツ活動はもとより、保健や安全に関する指導、給食を含む食に関する指導などが重視されなければならない。このような体育・健康に関する指導は、体育科の時間だけではなく家庭科や特別活動のほか、関連の教科や道徳科、総合的な学習の時間なども含めた学校の教育活動全体を通じて行うことによって、その一層の充実に図ることができる。

各学校において、体育・健康に関する指導を効果的に進めるためには、全国体力・運動能力、運動習慣等調査などを用いて児童の体力や健康状態等を的確に把握し、学校や地域の実態を踏まえて、それにふさわしい学校の全体計画を作成し、地域の関係機関・団体の協力を得つつ、計画的、継続的に指導することが重要である。

また、体育・健康に関する指導を通して、学校生活はもちろんのこと、家庭や地域社会における日常生活においても、自ら進んで運動を適切に実践する習慣を形成し、生涯を通じて運動に親しむための基礎を培うとともに、児童が積極的に心身の健康の保持増進を図っていく資質・能力を身に付け、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われるよう配慮することが大切である。

【中学校学習指導要領解説総則編（平成29年7月）抜粋】※高等学校においても同様

さらに、心身の健康の保持増進に関する指導においては、情報化社会の進展により、様々な健康情報や性・薬物等に関する情報の入手が容易になっていることなどから、生徒が健康情報や性に関する情報等を正しく選択して適切に行動できるようにするとともに、薬物乱用防止等の指導が一層重視されなければならない。なお、生徒が心身の成長発達に関して適切に理解し、行動することができるようにする指導に当たっては、総則第4の1の（高等学校は第1章総則第5款1）に示す主に集団の場面で必要な指導や援助を行うガイダンスと一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行うカウンセリングの双方の観点から、学校の教育活動全体で共通理解を図り、家庭の理解を得ることに配慮するとともに、関連する教科等において、発達の段階を考慮して、指導することが重要である。

2 性教育を進めていく上での指導の留意点

- （1）児童生徒等の発達の段階や健康状態等を的確に把握し、学校や地域の実態を踏まえて、学校の全体計画を作成し、組織的、計画的、継続的に指導する。
- （2）教職員の共通理解だけでなく、保護者や地域の理解を得られる内容であること。
- （3）学習指導要領に則り、体育科、保健体育科はもとより、家庭科、道徳科等の各教科、総合的な学習の時間及び特別活動等を相互に関連付けながら、学校教育活動全体を通して指導し、発達段階に応じた内容とすること。
- （4）児童・生徒等が心身の成長発達に関して適切に理解し、行動することができるようにする指導については、集団指導と、一人一人が抱える課題に個別に対応した個別指導を行い、相互に補完すること。
- （5）特に新たな表記や外来語などについては、その意味を確かめ、児童生徒等の状況に応じ、表現方法に配慮すること。
- （6）性的指向・性自認や宗教等に配慮し、児童生徒等や保護者の理解を得ながら支援を進めること。

学校における性教育の基本的な考え方

1 性教育の意義

学校における性教育は、児童生徒の人格の完成を目指す人間教育の一環であり、豊かな人間形成を目的に、生命の尊重、人格の尊重、人権の尊重などの根底を貫く精神である人間尊重の精神に基づいて行われる教育です。

このため、性教育は、人間の性を人格の基本的な部分として、生物的側面、心理的側面、社会的側面に加え、生命尊重から捉えるとともに、総合的に指導することが大切です。

学校は、全ての児童生徒に対して、人間尊重や男女平等の精神の徹底を図り、性に関する基礎的・基本的な内容を、児童生徒の発達の段階に即して正しく理解できるようにするとともに、同性や異性との人間関係や今後の生活において直面する性に関する諸課題に対して、適切な意思決定や行動選択ができるよう、組織的・計画的に指導する必要があります。

2 性教育において育成を目指す資質・能力

性に関する 知識及び技能	・体の発育・発達や、思春期の体の変化、生殖に関わる機能の成熟等について、発達の段階に応じて正しく理解する。また、性感染症について正しく理解し、予防や回復のための方法を習得する。 ・心や精神機能の発達、自己形成について理解し、不安や悩みに適切に対処することができる。 ・家族や社会の一員として必要な性に関する知識を習得するとともに、性に関する社会問題について理解する。
性に関する 思考力、判断力、表現力等	・正しい知識に基づいて性に関する課題の解決策を考え、よりよい方策を選択することができる。 ・心身の成長発達に伴う悩みや課題に気づき、解決策を工夫して、健康の保持増進を図ることができる。 ・周囲と関わりながら家族や社会の一員としての自己の役割を考えるとともに、直面する性の諸課題に対して適切な意思決定や行動選択ができる。
学びに向かう力、人間性等	・自己の心身の成長発達を踏まえ、自己の性に対する認識を深め、課題を解決しながらよりよく生きていこうとする。 ・人間尊重、男女平等の精神に基づいて、性別等にかかわらず、多様な生き方を尊重し、互いに協力し合って豊かな人間関係を築こうとする。